

この度は光ドロップケーブルミニクロージャをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい設置を行って下さい。
また、取扱説明書をお読みになった後は、大切に保管して下さい。

⚠ 安全に関する注意

⚠ 警告

- ・蓋と本体に手、指を挟まないよう、開閉に支障のないようにお使い下さい。
- ・蓋のラッチは、本体の吻合部に確実に挿入して固定して下さい。挿入が不完全な場合は、振動でラッチが外れて落下したり、事故の原因になります。
- ・光ドロップケーブルミニクロージャの蓋が開いた状態で持って運ばないで下さい。本体と蓋が外れて落下したり、事故の原因になります。

⚠ 注意

- ・光ファイバーは、蓋、本体及び、トレイの開閉の際に挟み込まないように配線して下さい。
(光ファイバーの断線につながります。)
- ・光ドロップケーブルミニクロージャは、指定の場所に設置し、決して用途外の場所への設置は行わないで下さい。指定以外の設置場所によっては事故につながる恐れがあります。
- ・ケーブルをクランプする際は必要以上に押え付けないで下さい。
(光ファイバーの断線につながります。)

■ 使用上のご注意

- ・高温、多湿、塵埃、腐食性ガス、振動、衝撃などがある環境ではご使用にならないで下さい。
- ・ねじ部品は、必要以上に締め付けないようにして下さい。締め付け過ぎますと部品の破損事故の原因となります。
- ・本製品の表面上に白い粉状の物質が析出しますが、耐候性材料によるものですので製品に問題はありません。

1. はじめに

この取扱説明書は、光ドロップケーブルの接続・分岐を目的として、ケーブルの処理、心線接続処理工事を行う光ドロップケーブルミニクロージャに適用します。

<セット内容>

- | | | |
|---------------------|---|----|
| ・光ドロップケーブルミニクロージャ本体 | ： | 1台 |
| ・導入孔キャップ | ： | 4個 |
| ・ケーブルクリップ1. 6 | ： | 6個 |
| ・ケーブルクリップ2. 5 | ： | 6個 |

2. 施工場所について

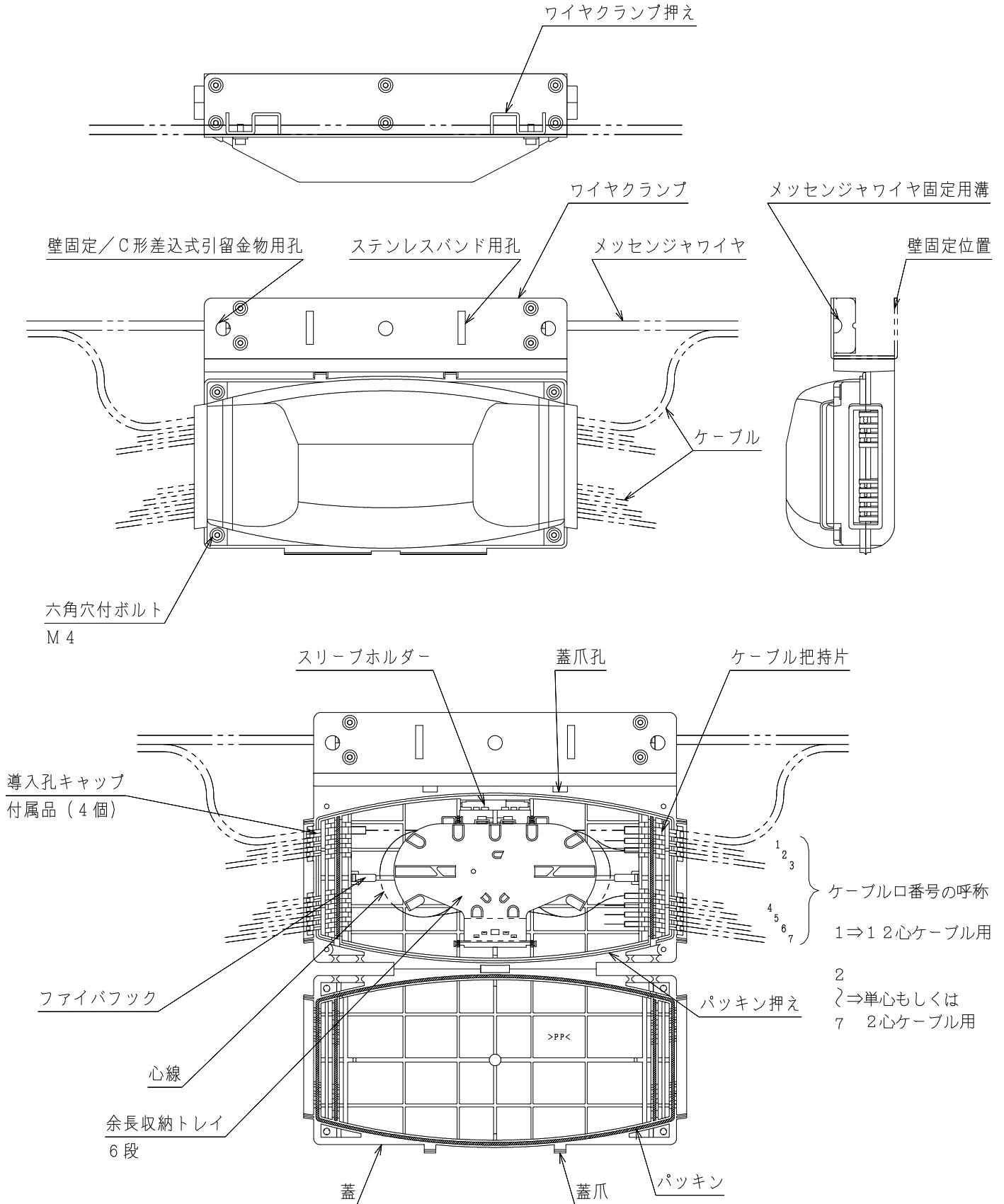
光ドロップケーブルミニクロージャは、基本的にコンクリート柱から1 m以内に配置します。

■ 特徴

- ・光ドロップケーブル中間分岐用として使用できます。
- ・メツセンジャーワイヤに取付ける事ができます。
- ・障害対策用として、多岐にわたり接続が可能です。
- ・壁面やコンクリート柱にも取付可能です。(コンクリート柱への取付けは、別途ステンレスバンドが必要です。)

3. 各部の名称

本取扱説明書では、各部を次のように呼称しています。



4. 作業手順

■ 光ドロップケーブルの接続作業手順を示します。

- (1) メツセンジャワイヤへの固定
- (2) 本製品への配線
 - ① 中間分岐配線
 - ② 中間接続もしくは追加ケーブル接続
 - ③ アダプタ接続
- (3) 光ドロップケーブル撤去手順

■ 作業には下記の工具及び消耗品を使用しますのでご用意下さい。(注1)

使用工具
六角レンチ、ハサミ、ペンチ、ニッパー、カッターナイフ、コンベックス ファイバー接続工具一式
消耗品
アルコール、ウエス、ケーブルマーキング用白マジック PVCテープ(幅約15mm)、心線スリーブ(注2)、自己融着テープ

注1：使用工具、消耗品は製品に含まれておりません。

注2：メカニカルスプライス(4×4×40mm)、単心用熱融着スリーブ(長さ40mm、60mm)、
テープ心線用熱融着スリーブ(長さ40mm)がご使用になれます。
単心用熱融着スリーブをスリーブホルダーに収める場合は、自己融着テープ等を
巻くなどして、把持できる太さの調整を要します。

■ 適応する光ドロップケーブルについて

本製品に接続する、光ドロップケーブルの種類を示します。

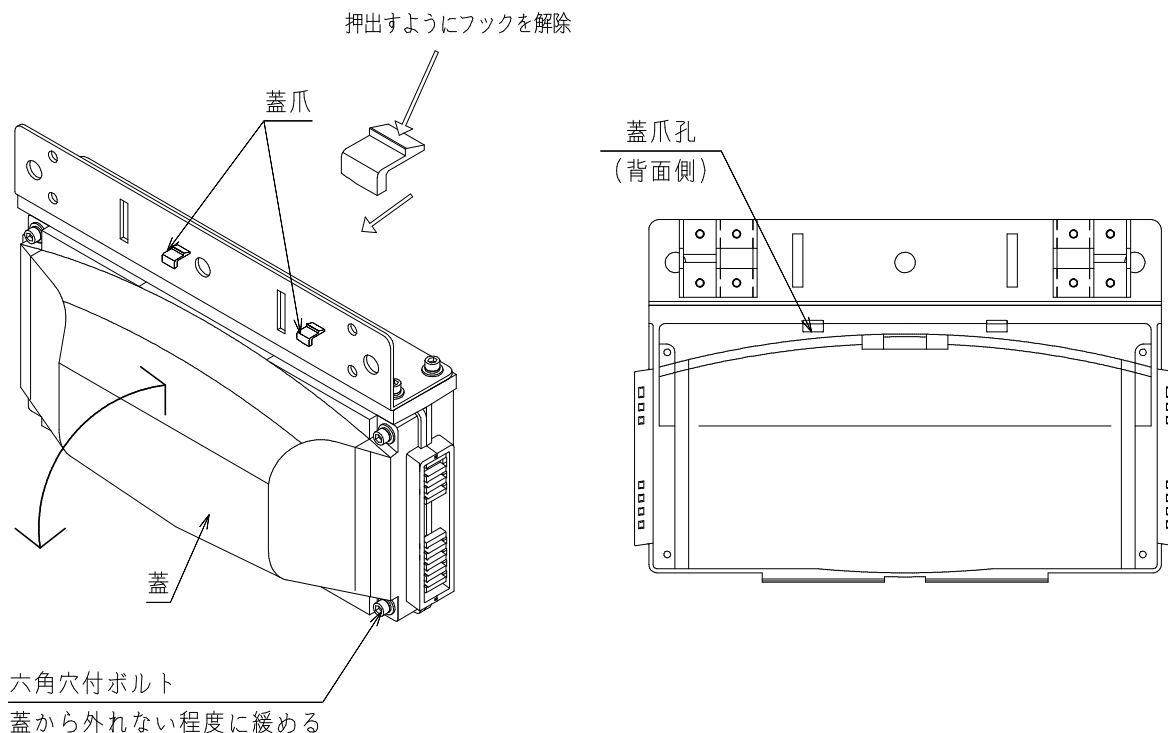
ケーブル口番号	ケーブル種類	本線断面寸法(mm) ^(注3) (支持線を除く)	備考
1	1 2心	3.0 × 5.0	自己融着テープを巻く。
2～7	単心	2.0 × 2.5	ケーブルクリップ1.6を使用する。
	2心(単心)	2.0 × 3.5	ケーブルクリップ2.5を使用する。
	2心(2テープ)	2.0 × 3.5	ケーブルクリップ2.5を使用する。

注3：表記の数値は参考寸法です。

本表の寸法以下のケーブルをご使用される場合はコーキングなどの止水処理が
必要になります。

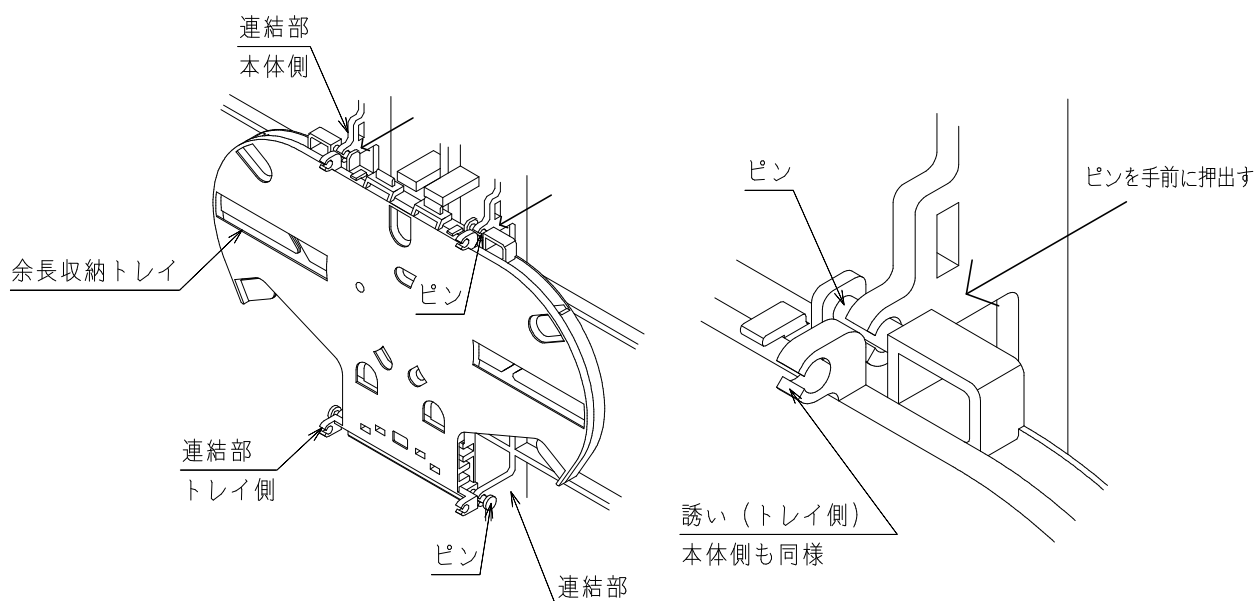
■ 蓋のフック解除方法

蓋を固定している4箇所の六角穴付ボルトを、蓋から外れない程度に緩めます。
本体背面側の蓋爪孔より、蓋爪を下側へ押えながら蓋側へ押し出すようにしてフックを解除します。



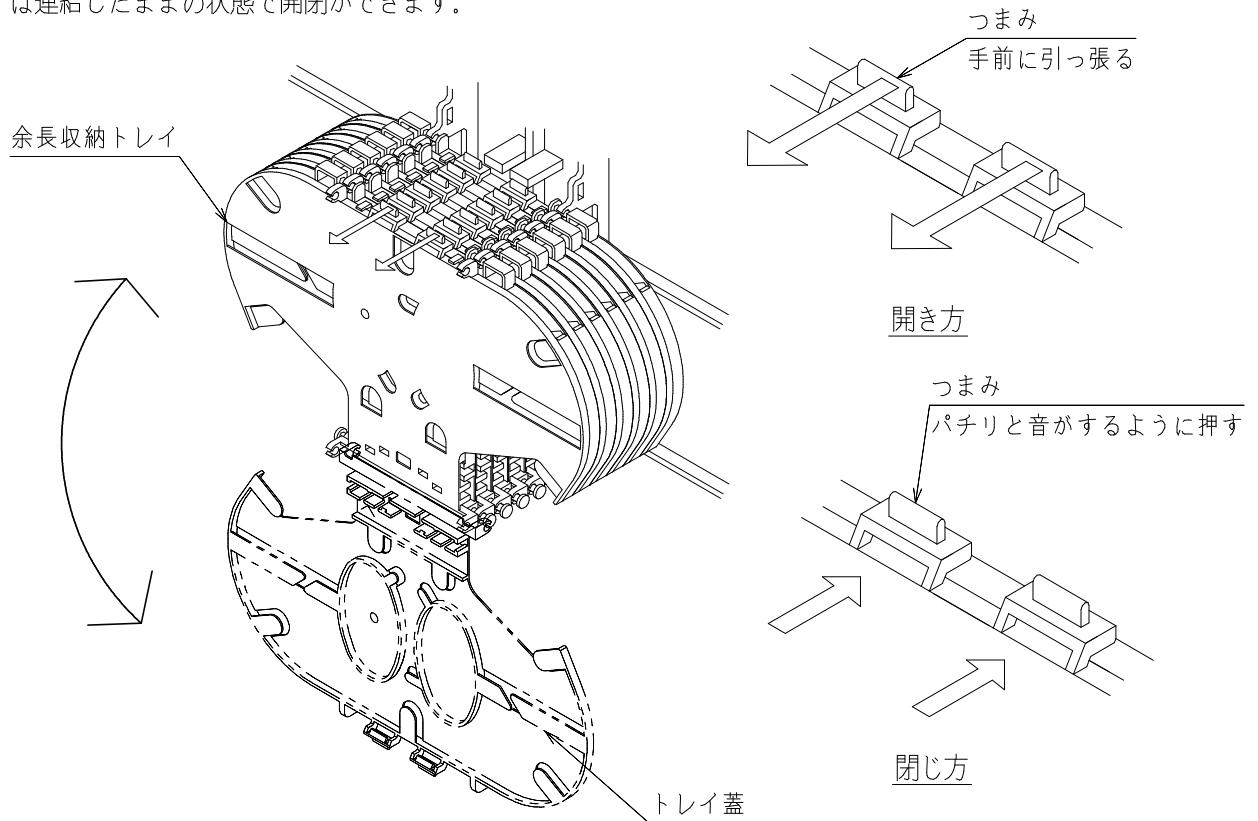
■ 余長収納トレイの連結方法

余長収納トレイのピンを、本体側の連結部の辺りから手前に押し出して連結を解除します。
余長収納トレイどうしの連結も同様に解除できます。
連結を行う場合は、ピンを連結部の誘いにあてがいがいながら押し込んで下さい。
押し込む際は、誘いを曲げないようにご注意ください。

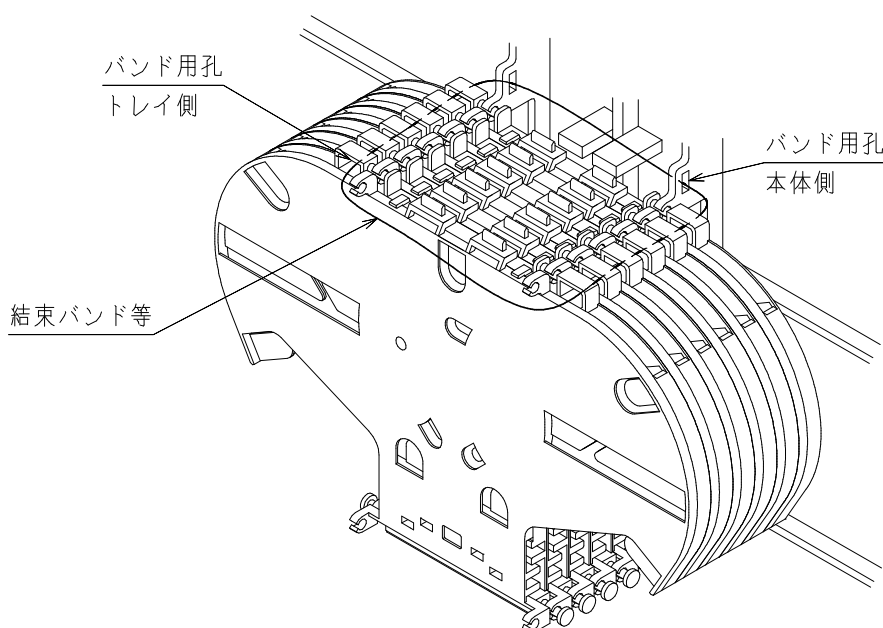


■ 余長収納トレイの開閉方法

開きたい余長収納トレイのつまみ（2ヶ所）を手前に引っ張り、トレイを少したわませてフックを解除します。トレイを閉じる場合は、トレイ蓋を閉じた後、つまみをパチリと音がするように押してフックを掛けて下さい。トレイは連結したままの状態が開閉ができます。



余長収納トレイ及び本体にはバンド用孔が設けてあり、結束バンド等で固定することができます。
(結束バンド等は付属していません。)

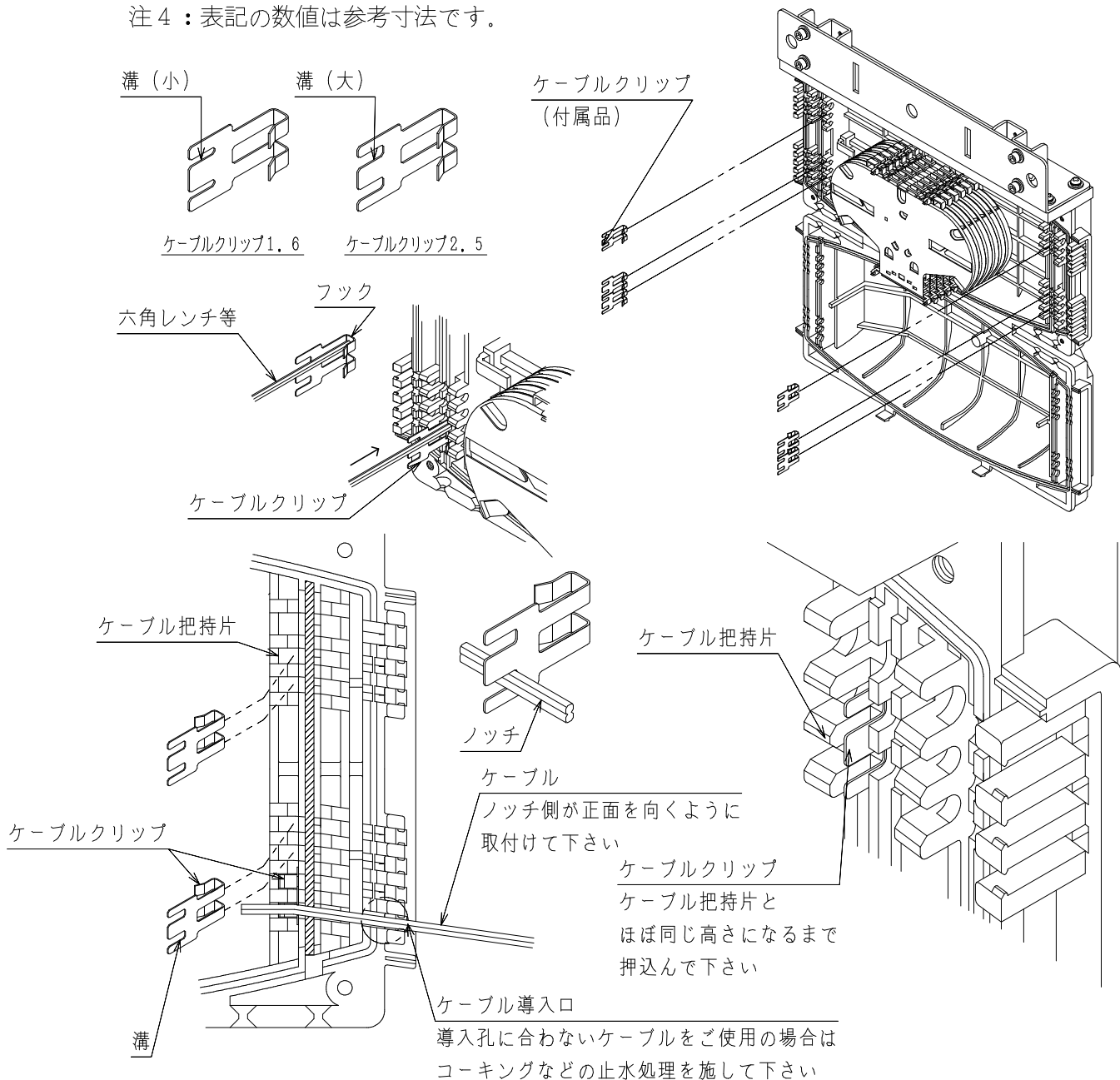


■ ケーブルクリップの取付け

ケーブルクリップは、ご使用されるケーブルの太さにより使い分けて下さい。
 本体中央よりのケーブル把持片側部に設けてある取付用穴にケーブルクリップを差し込み、ケーブルクリップのフックに六角レンチ等の先端が細い工具をあてがい、ケーブル把持片とはほぼ同じ高さになるまで本体の奥へ押し込んで下さい。差し込み位置は下図を参照して下さい。ケーブルクリップは、2本のケーブルを装着することができます。装着するケーブルは、心線取出し用のノッチが正面側となる向きにして、ケーブル把持片とケーブルクリップの奥まで差し込みます。

ケーブル口番号	ケーブル種類	本線断面寸法 (mm) ^(注4) (支持線を除く)	備考
2～7	単心	2.0 × 2.5	ケーブルクリップ1.6を使用する。
	2心 (単心)	2.0 × 3.5	ケーブルクリップ2.5を使用する。
	2心 (2テープ)	2.0 × 3.5	ケーブルクリップ2.5を使用する。

注4：表記の数値は参考寸法です。



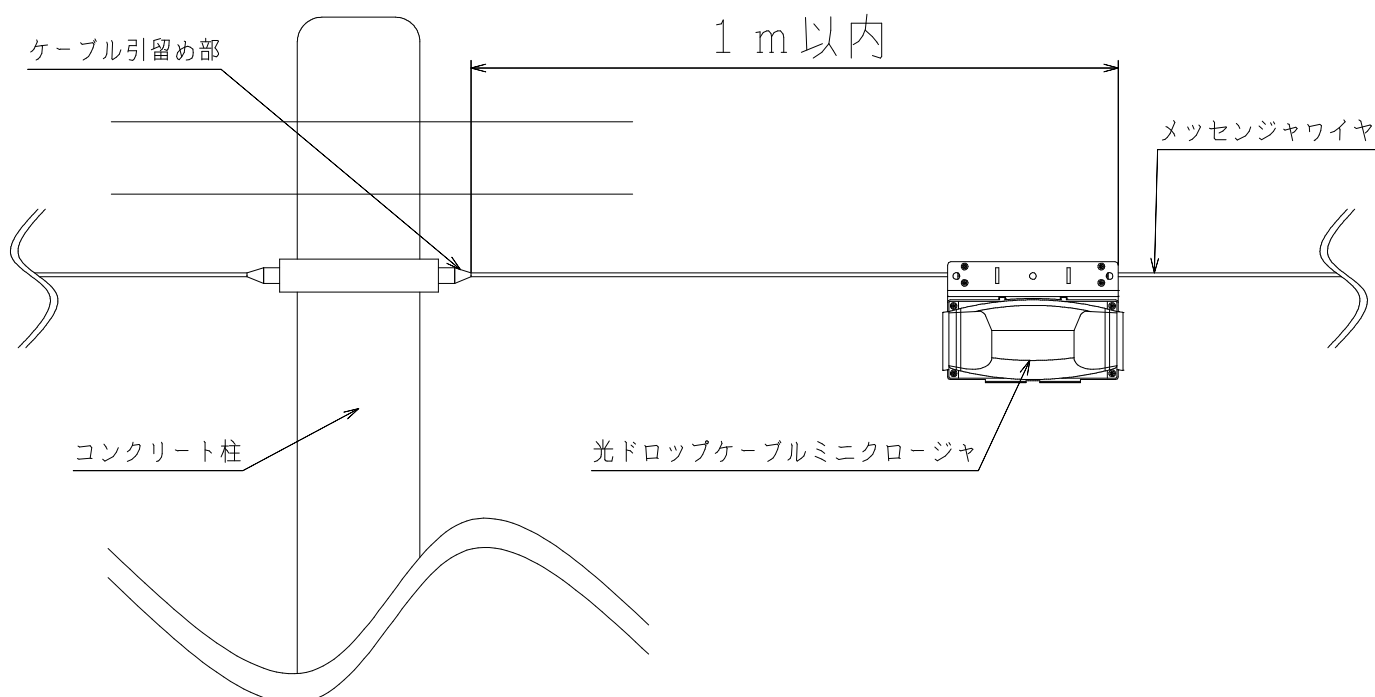
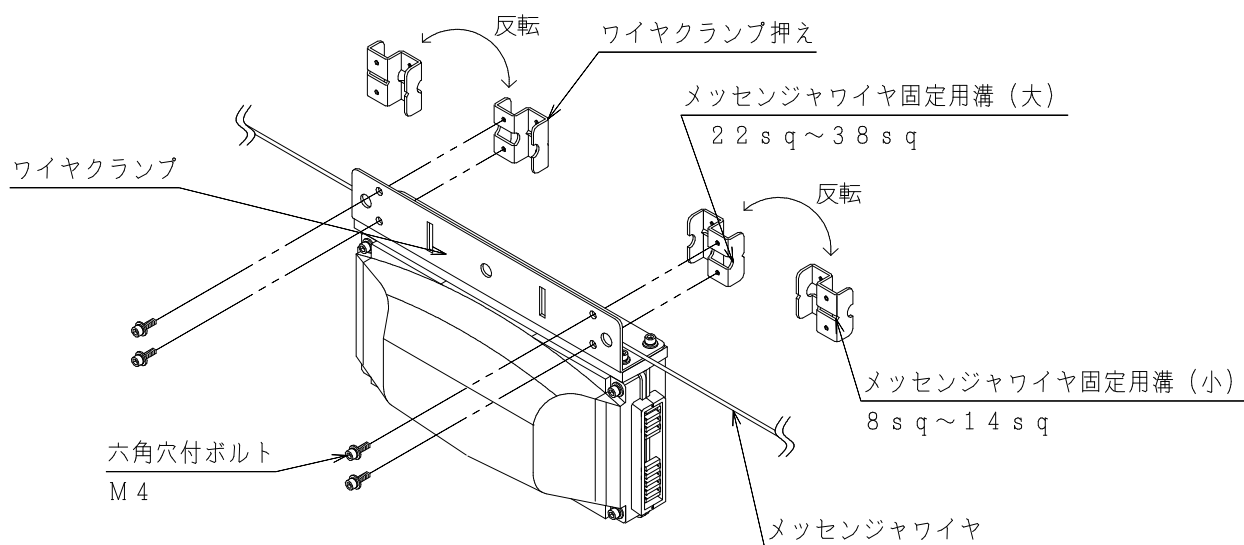
5. 作業内容

(1) メッセンジャワイヤへの固定

1. メッセンジャワイヤを下図のようにワイヤクランプ押えの溝に当てて、ワイヤクランプとの間で挟み、4箇所の六角穴付ボルトで確実に固定して下さい。また、コンクリート柱に設けてあるケーブル引留め部から1 m以内に本製品を設置して下さい。

メッセンジャワイヤ固定用溝 (大) は、22sq～38sqのメッセンジャワイヤが固定できます。

8sq～14sqのメッセンジャワイヤのサイズをご使用の場合は、ワイヤクランプ押えを反転させ、固定用溝 (小) で固定して下さい。



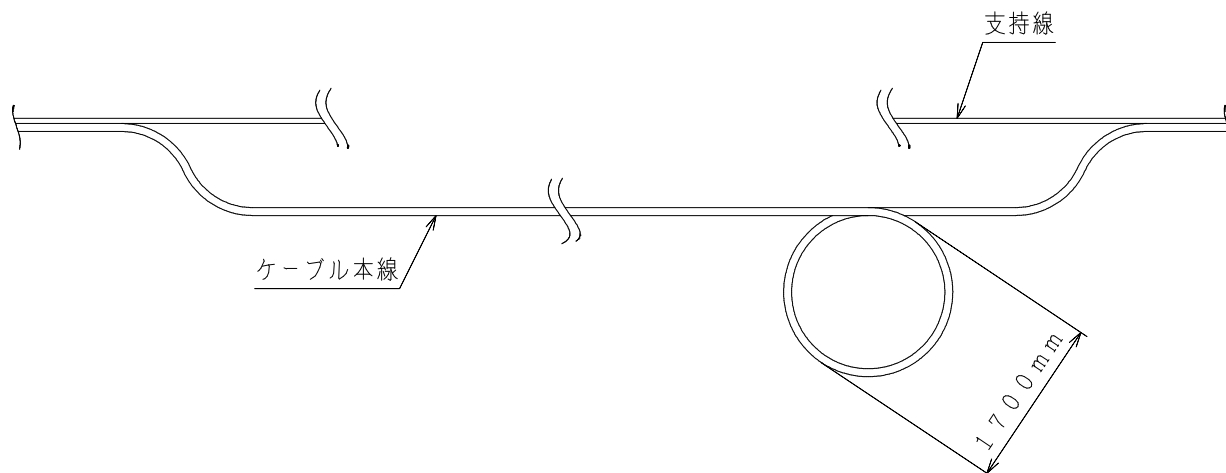
⚠ 注意

- ・蓋を開いたままメッセンジャワイヤへの固定作業を行わないで下さい。落下事故の原因になります。

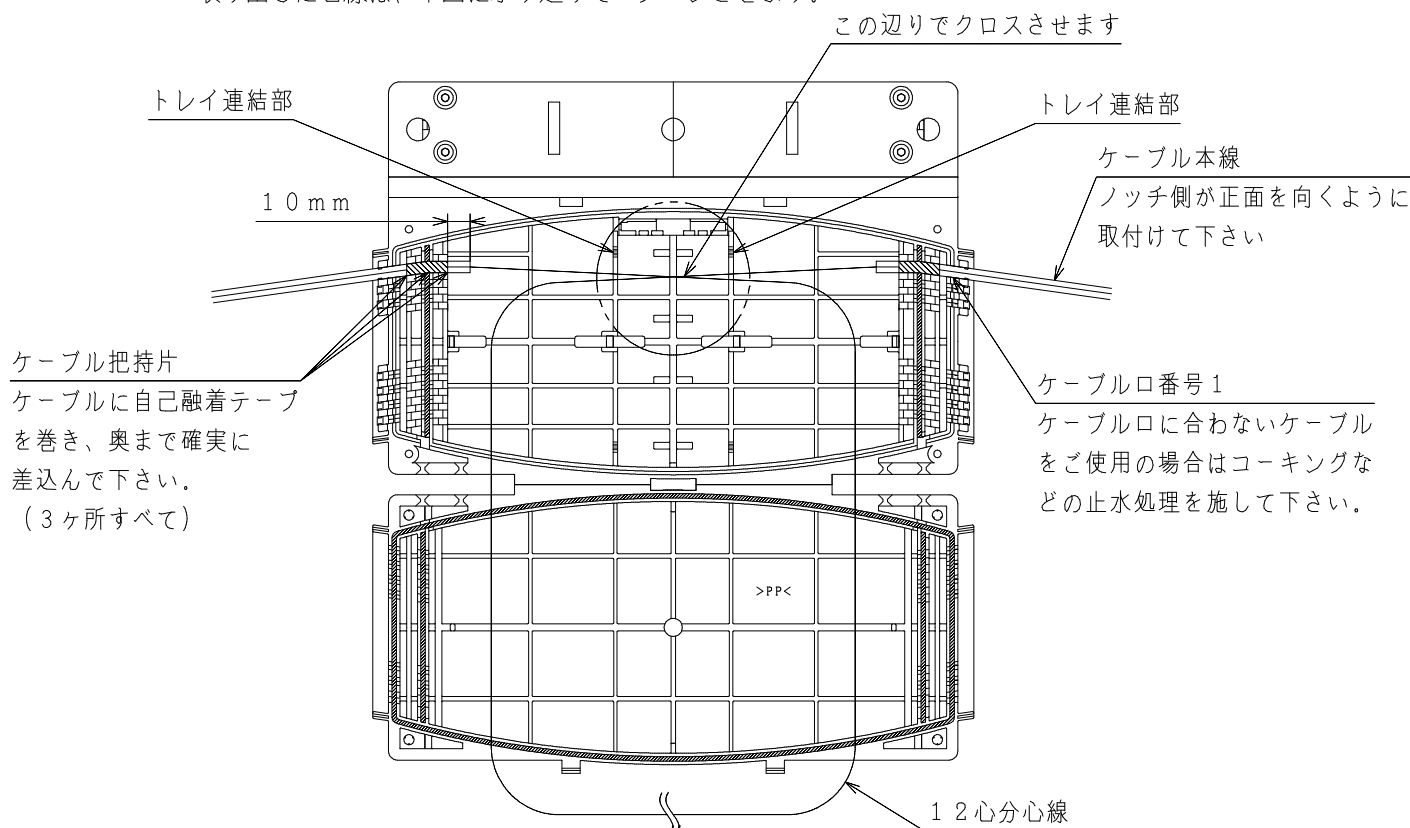
(2) 本製品への配線

①中間分岐配線（12心ドロップケーブルの場合）

1. 施工場所に合わせて、ドロップケーブルの支持線を安全な施工に要する長さに切断し、ケーブル本線から分離させます。この時、ケーブル本線の余長は1700mmとして下さい。



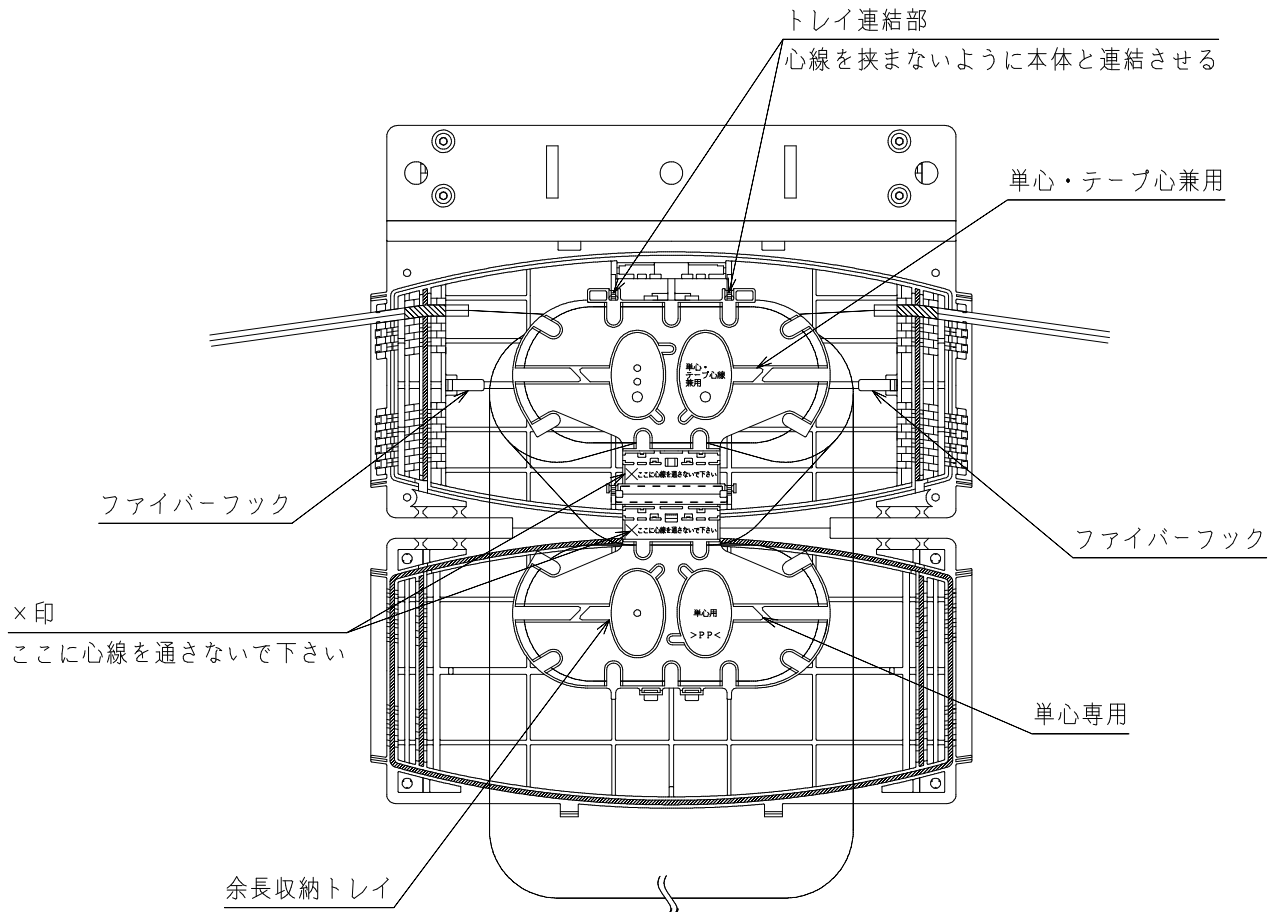
2. 本製品の蓋を開け、余長収納トレイと本体の上側の連結を外します。本線をケーブル把持片に固定し、図のようにケーブル把持片から10mmまでケーブル本線のシースを剥ぎ心線を取り出します。取り出した心線は、下図に示す辺りで1ターンさせます。



⚠ 注意

- ・ドロップケーブルの自己支持線は、引留具を設ける等適切な処理を施してください。
- ・ドロップケーブルは、ケーブル導入孔に合ったケーブルをご使用下さい。ケーブル導入孔に合わないケーブルをご使用される場合は、雨水の侵入を招きますので、コーキングなどの止水処理を施して下さい。

3. 心線を挟まないように、余長収納トレイを本体に固定します。トレイの下に配線している心線を1本ずつ取出し、最下段の余長収納トレイから順に、心線をターンさせながらトレイへ収めます。トレイの開閉に支障のないよう、トレイの下に配線してある余長は、ファイバーフックに収まるようにだけ長くして下さい。余長収納トレイは、蓋側にも配線できる表裏一体構造で、本体側が単心・テープ心兼用、蓋側が単心専用になります。また、ヒンジ部付近にあるスリーブホルダー下部の×印の箇所には、心線を通さないで下さい。



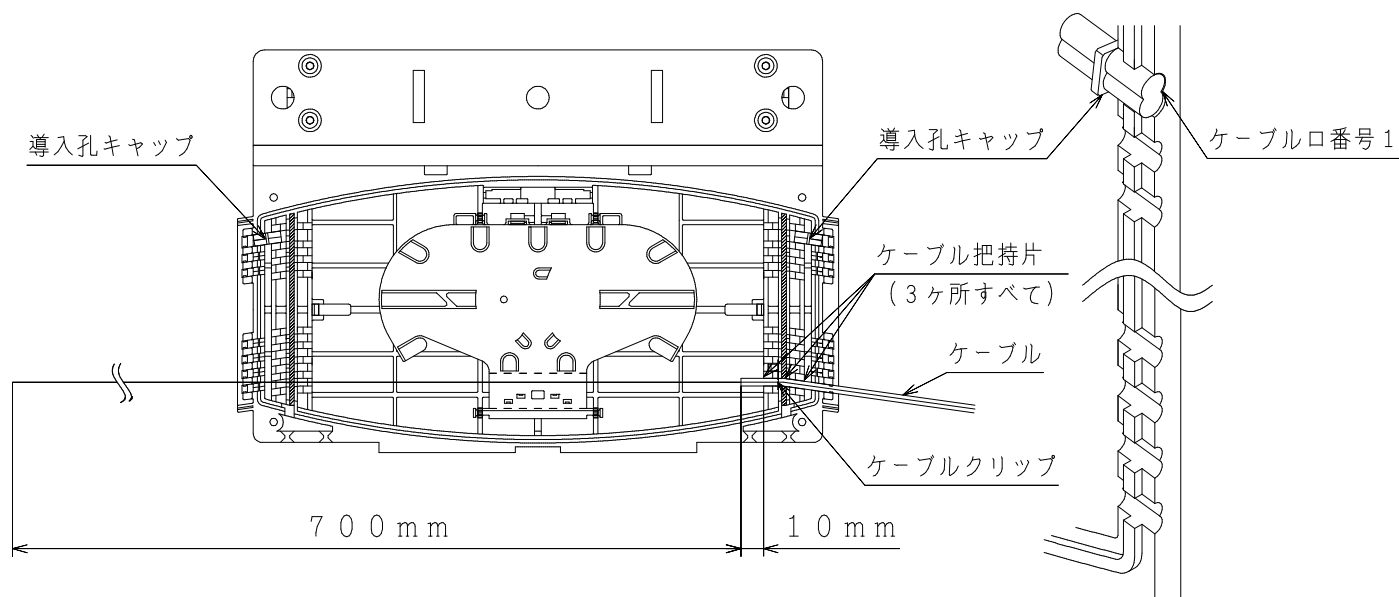
4. 光ドロップケーブルミニクロージャの蓋を閉めて蓋爪が蓋爪孔に入るまで閉め、4箇所の六角穴付ボルトで締め付け、本体と蓋との隙間の無いようにします。

⚠ 注意

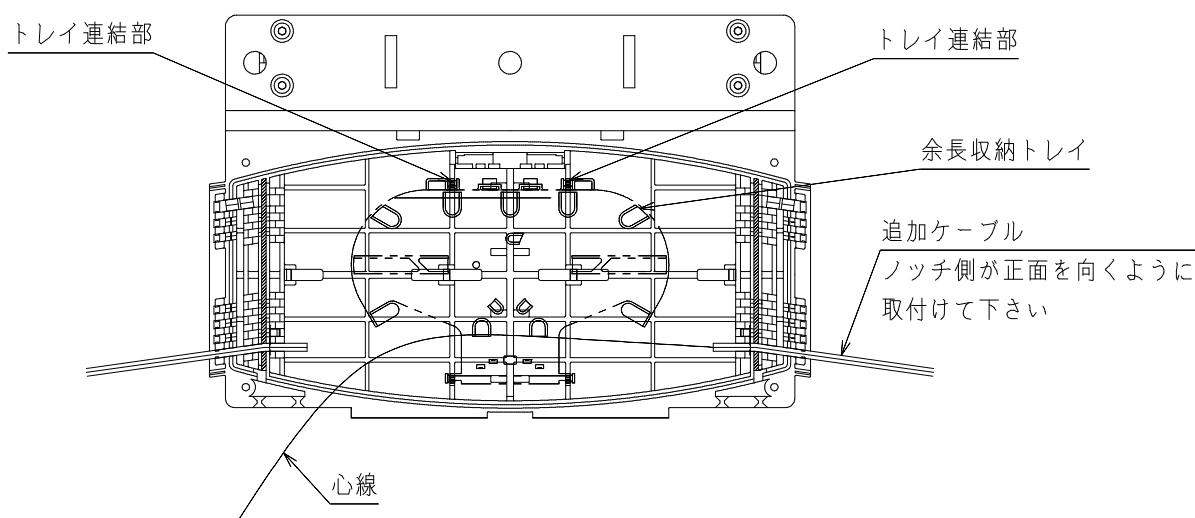
- ・ドロップケーブルは、ケーブル導入孔に確実に挟み込んでご使用下さい。挟み込みが不完全ですと、雨水の侵入を招きますのでご注意下さい。
- ・本体の蓋やトレイを開閉する際、またはトレイを段積みする際は、心線が挟み込まないように配線して下さい。

②中間接続もしくは追加ケーブル接続の場合

1. ケーブル口番号1をご使用にならない場合は、付属の導入孔キャップを導入孔にはめ込んで下さい。また、ケーブル導入孔に合わないケーブルをご使用になる場合は、コーキングなどの止水処理を施して下さい。
2. 接続するドロップケーブルの支持線とケーブルを分離し、施工場所に合わせて安全な施工に要する長さに切断します。ケーブルの外被を剥ぎ取り、ケーブル把持片にケーブルを固定して、下図のように心線を所定の寸法に切断します。分離した支持線は、引留具に固定する等の適切な処理を施して下さい。



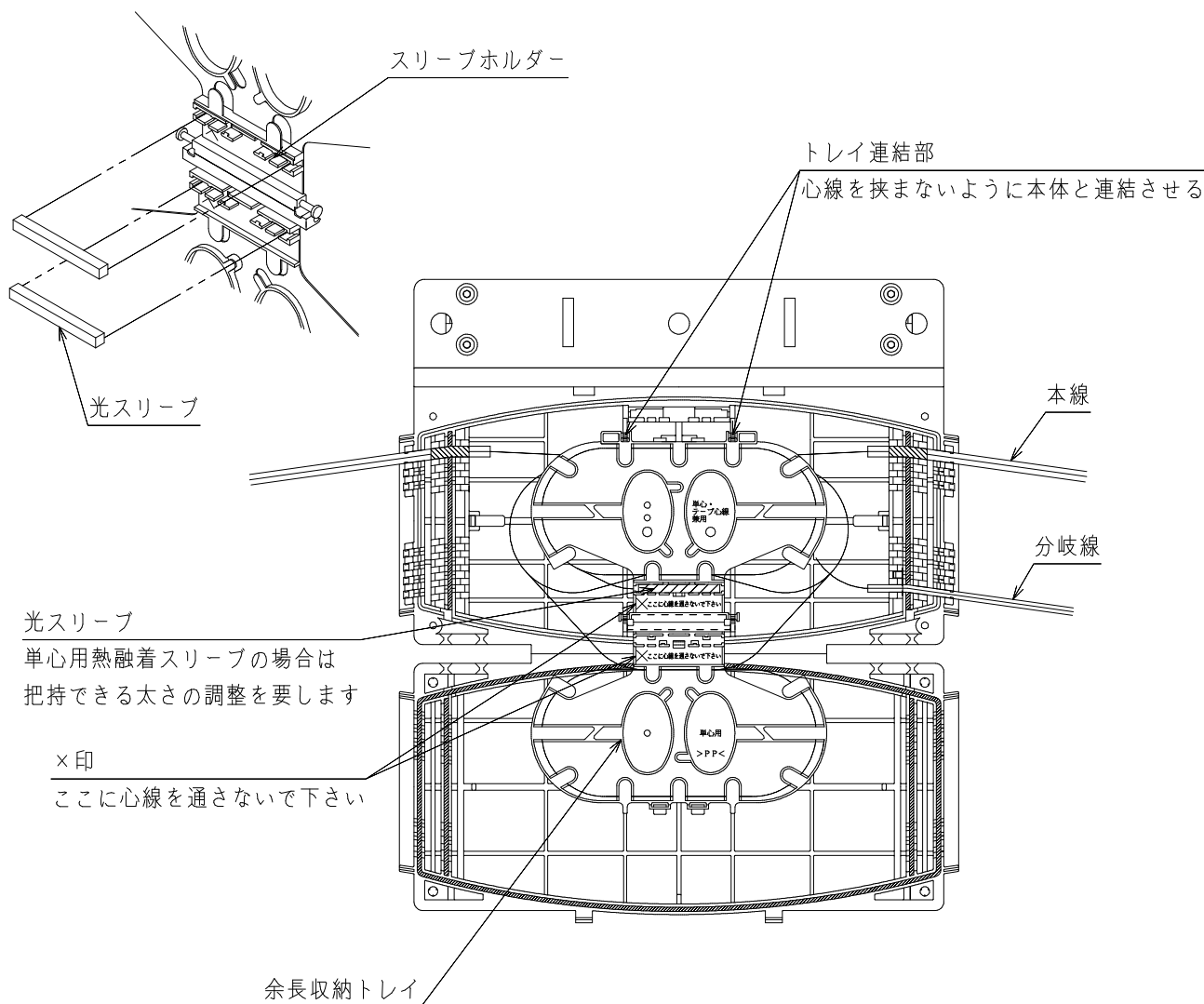
3. 中間接続や追加ケーブルの心線は、一旦最下層の余長収納トレイの下側に配線します。その際は、最下層のトレイと本体との連結部のみを外します。



⚠ 注意

- ・ドロップケーブルは、ケーブル導入孔に合ったケーブルをご使用下さい。ケーブル導入孔に合わないケーブルをご使用される場合は、雨水の侵入を招きますので、コーキングなどの止水処理を施して下さい。

4. 中間接続の場合は、②-2で準備した心線を、中間分岐配線の場合は①-3でトレイに収めた未接続の心線を取り出し、分岐する心線と接続機器で接続し、同トレイにあるスリーブホルダーに光スリーブを収めます。続いて心線をターンさせながらトレイへ収めます。
 また、ヒンジ部付近にあるスリーブホルダー下部の×印の箇所には、心線を通さないで下さい。
 単心用熱融着スリーブをご使用の場合は、スリーブに自己融着テープ等を巻くなどして、把持できる太さの調整を要します。



5. 光ドロップケーブルミニクロージャの蓋を閉めて蓋爪が蓋爪孔に入るまで閉め、4箇所の六角穴付ボルトで締め付け、本体と蓋との隙間の無いようにします。

⚠ 注意

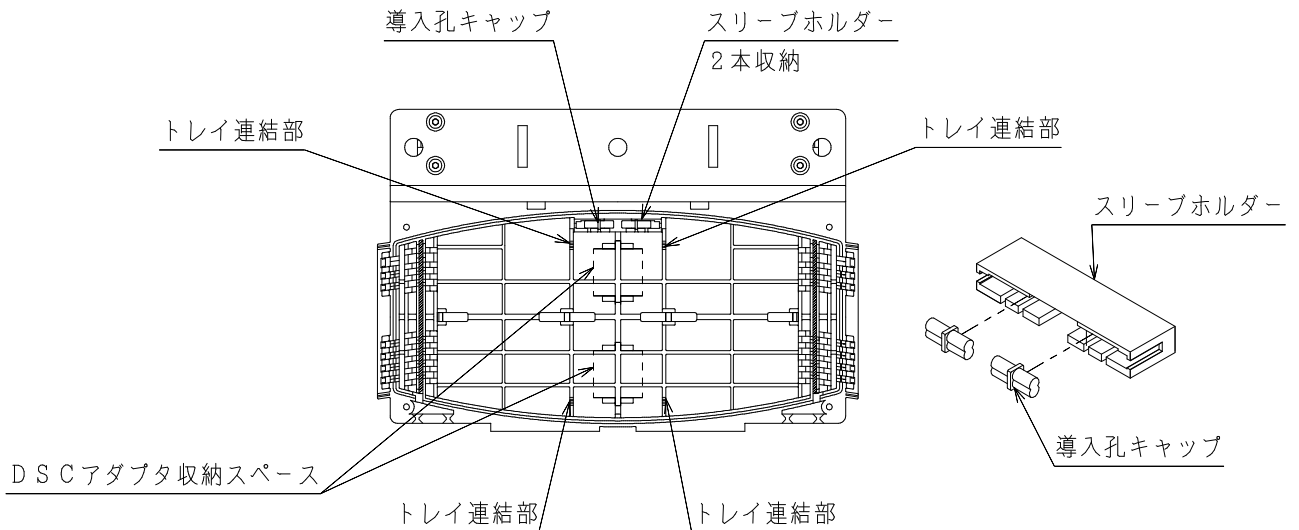
- ・ドロップケーブルは、ケーブル導入孔に確実に挟み込んでご使用下さい。挟み込みが不完全ですと、雨水の侵入を招きますのでご注意下さい。
- ・本体の蓋やトレイを開閉する際、またはトレイを段積みする際は、心線が挟み込まないように配線して下さい。

③アダプタ接続

光ドロップケーブルミニクロージャ本体には、DSCアダプタを取付けるスペースとスリーブホルダーが設けてあります。(本製品にDSCアダプタは付属していません。)

DSCアダプタにコネクタを取付け後に、本体へ差し込んで下さい。

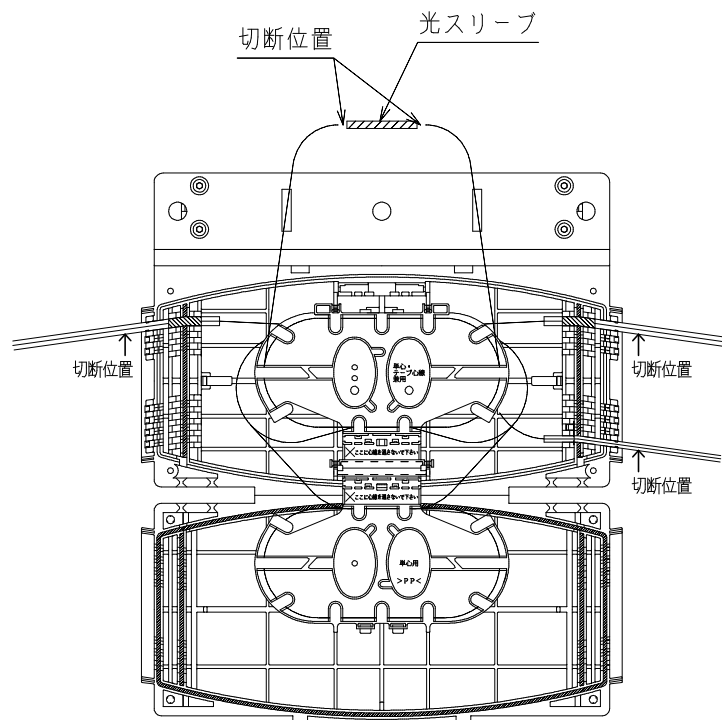
スリーブホルダーをご使用の場合は、光スリーブを収めた後、付属の導入孔キャップを2個挿入して光スリーブを確実に押えて下さい。



(3) 光ドロップケーブル撤去手順

撤去する光ドロップケーブルの心線を選択し、光スリーブは取出して心線と分離させます。

下図に示すケーブルの位置で、ニッパを用いて切断し、ケーブル把持片からケーブルを外し、撤去する余長収納心線を引出して下さい。

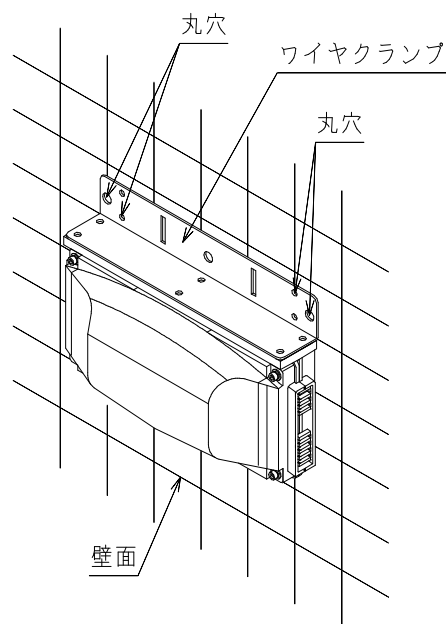


6. 壁面及びコンクリート柱への設置

ワイヤランプ及びワイヤランプ押えを取外し、ワイヤランプのみを下図のように反転させて本体へ取付けることで、壁面やコンクリート柱に本製品を設置することができます。

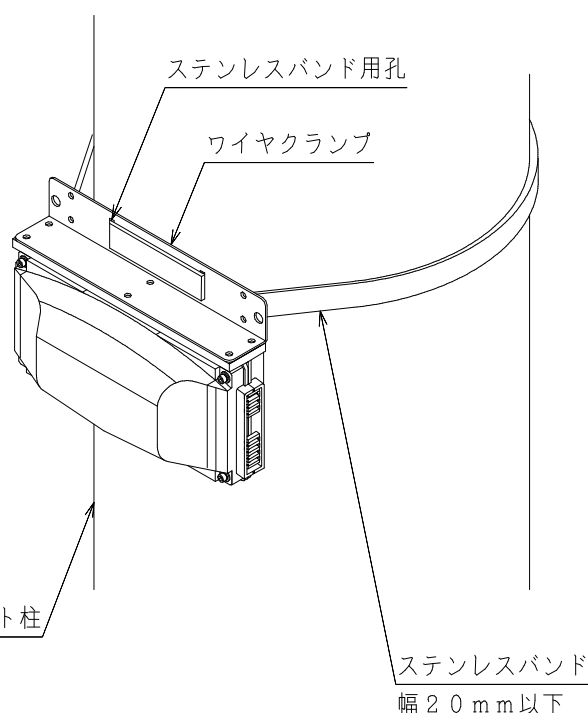
■ 壁面の場合

ワイヤランプに設けてある丸穴を左右で各1ヶ所以上用いてアンカーボルトなどで確実に固定して下さい。
(本製品には、壁設置用のボルトは付属しておりません。別途ご購入してご使用下さい。)



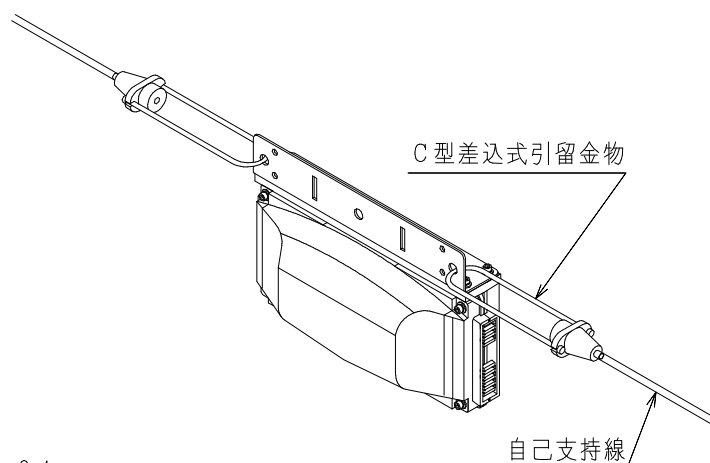
■ コンクリート柱の場合

ワイヤランプに設けてあるステンレスバンド孔にステンレスバンドを通して確実に固定して下さい。
ステンレスバンドは、幅20mm以下のものがご使用になれます。
(本製品には、ステンレスバンドは付属しておりません。別途ご購入してご使用下さい。)



7. C型差込式引留金物での施工

ワイヤランプに設けてある壁固定用孔に、C型差込式引留金物を取付ける事ができます。その際は、必ず左右から引っ張り合うよう設置して下さい。
(C型差込式引留金物は、本製品には付属しておりません。別途ご購入してご使用下さい。)



河村電器産業株式会社

KAWAMURA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

〒489-0975 愛知県瀬戸市山の田町155番地

お問い合わせ先 TEL (0561) 83-3151

承り時間 休日を除く AM9:00~PM5:00